

FXi-02 / HRA-02 USB インタフェース 取扱説明書

1WMPD4001315A

1. 特長

- ・パソコンに天びん (FX-i / FZ-i シリーズ、HR-A / HR-AZ シリーズ) を USB 接続して、計量値をパソコンに送信することができます。対象 OS は、Windows 2000 以降です。
- ・Windows 標準のドライバを使用するため、複雑な専用ドライバのインストールが不要で、接続するだけで計量値を送信できます。(クイック USB 機能)
- ・Windows の Excel や Word、メモ帳など、どのアプリケーションにもデータを送信できます。
- ・USB ケーブル (長さ約 2 m) が付属しています。

注意： ・パソコンに送信できるデータは計量値のみとなります。ヘッダ、単位は送信されません。
・パソコンから天びんにコマンドを送ることはできません。コマンドにより天びんを制御したい場合は、RS-232C で接続するか、別売品の USB コンバータ (AX-USB-9P) をご使用ください。
・パソコンのスクリーンセーバー、サスペンドモードはオフにしてください。
・Windows、Excel、Word は米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

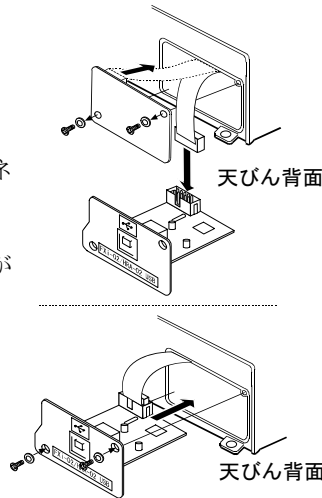
2. 取付方法

注意：天びん本体から AC アダプタを外した状態で、以下の作業を行ってください。

手順 1 背面のパネルのネジ (2 本) を外し、パネルと一緒に接続ケーブルのコネクタ部をケースの外に出します。

手順 2 ケーブルのコネクタ部はパネルに両面テープで貼り付いています。剥がして FXi-02 / HRA-02 ボードのコネクタに差し込みます。

手順 3 FXi-02 / HRA-02 ボードを装着し、手順 1 で外した 2 本のネジで固定します。



3. 使用方法

手順 1 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。次に、天びんに AC アダプタを接続し、天びん本体の電源を入れます。

手順 2 付属の USB ケーブルで天びんとパソコンを接続します。

注意： USB ケーブルの接続は、天びんのデータ出力モードをストリームモード以外の設定で行ってください。

手順 3 初めて接続する場合、自動でドライバがインストールされます。インストールが完了するまで、お待ちください。2 回目以降はこの手順は必要ありません。

手順 4 計量データを送信するパソコンのアプリケーション (Excel など) を起動します。キーボードの入力モードを半角設定にします。計量データを送信したい位置にカーソルを合わせます。

手順 5 天びんの **PRINT** キーを押すと、現在カーソルがある位置に計量データが送信されます。

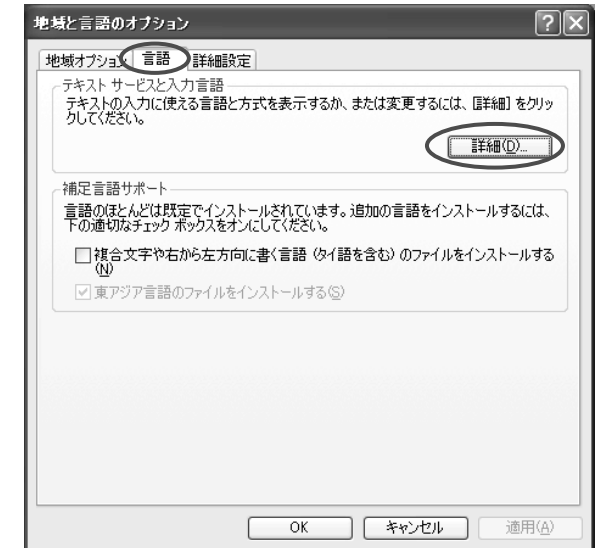
手順 6 終了する際は、そのまま USB ケーブルを抜きます。

4. 使用上の注意

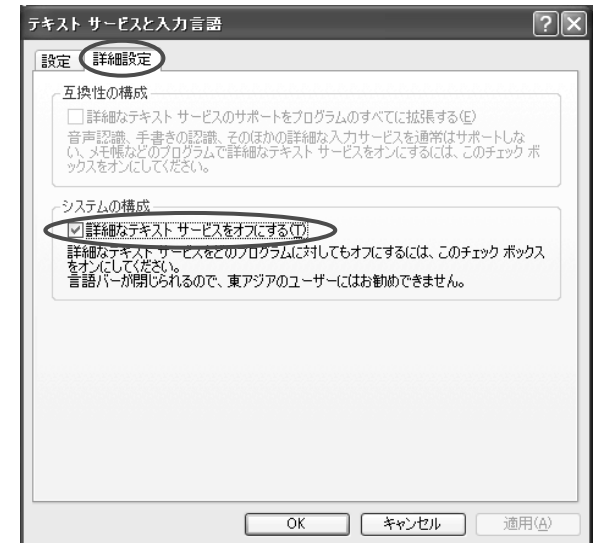
Windows XP で Excel に正しくデータが入らない場合、以下の手順で「詳細なテキストサービス」をオフにしてください。Windows XP 以外の OS では、この機能はありません。

手順 1 「コントロールパネル」から「地域と言語のオプション」を開きます。

手順 2 「言語」タブを選択し、「詳細」ボタンをクリックします。



手順 3 「詳細設定」タブを選択し、「詳細なテキストサービスをオフにする」にチェックを入れます。



5. 使用例、応用例

○計量データの集計 1

天びんのデータ出力モード：キーモード (出荷時設定) **dout 0**

天びんの **PRINT** キーを押して、パソコンにデータを送信します。基本的な使い方です。

○計量データの集計 2

天びんのデータ出力モード：オートプリントモード **dout 1** または **dout 2**

天びんにサンプルを載せて、安定したときにパソコンにデータを送信します。

繰り返し物を載せて、その計量値を記録する場合に便利です。

○計量データの定期的な収集

天びんのデータ出力モード：インターバル出力モード **dout 6**

一定間隔でパソコンにデータを送信します。計量値の時間的な変化を記録することができます。

出力間隔はインターバル (int) の設定により、表示書換毎、2 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、2 分、5 分、10 分の中から選択できます。